

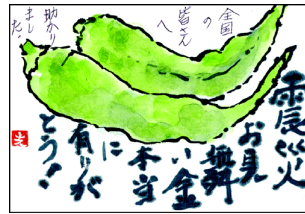
新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせます。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

今週の紙面

- 2面 ニュース/能登・珠洲へ
- 3面 平和の波行動/国際会議宣言
- 4・5面 女性のつどい/女性平和基金25周年のつどい/働く
- 6面 食事情/子育て/時事
- 7面 読者/母の歴史/乱楽/まんが



石川・七尾市 三原光子

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

原水爆禁止2024年世界大会 8月3日～9日

「核抑止」より条約批准を

被爆80年へ次世代とともに



新婦人の次世代のステージが目玉的に (4日 広島)



被爆者と海外代表がともに (6日 広島)



8月6日、仙台駅前にて25人で署名行動。核兵器禁止条約や日本政府の態度を知らせ、広島の悲劇を繰り返さないと呼びかけ、平和の歌でアピールし、署名は72人分集まりました。(宮城)

各地で平和の波行動

かす大きな力になる。被爆者の思いを

「核兵器の非人道性を次世代に伝えるために、小学5年生の娘と初参加しました」

「核兵器の非人道性を次世代に伝えるために、小学5年生の娘と初参加しました」

「核兵器の非人道性を次世代に伝えるために、小学5年生の娘と初参加しました」

「核兵器の非人道性を次世代に伝えるために、小学5年生の娘と初参加しました」

「核兵器の非人道性を次世代に伝えるために、小学5年生の娘と初参加しました」

「核兵器の非人道性を次世代に伝えるために、小学5年生の娘と初参加しました」

「核兵器の非人道性を次世代に伝えるために、小学5年生の娘と初参加しました」

今年、女性平和基金招待者、マリベル・エルナンデスさんは、スペイン政府に核兵器禁止条約参加を迫る運動を報告。1966年に水爆を搭載していた米軍爆撃機が墜落し、核爆発は免れたものの広大な土地が放射能に汚染された歴史をふまえて、昨年、人権、平和教育、環境、フェミニズムなど63の市民団体が核軍縮同盟を結成。「国民の89%が禁止条約に参加すべきと考えている。核の脅威をなくすために最善を尽くすことは、私たち一人一人の責任です」の言葉に共感が広がりました。(2面へ)

今年、女性平和基金招待者、マリベル・エルナンデスさんは、スペイン政府に核兵器禁止条約参加を迫る運動を報告。1966年に水爆を搭載していた米軍爆撃機が墜落し、核爆発は免れたものの広大な土地が放射能に汚染された歴史をふまえて、昨年、人権、平和教育、環境、フェミニズムなど63の市民団体が核軍縮同盟を結成。「国民の89%が禁止条約に参加すべきと考えている。核の脅威をなくすために最善を尽くすことは、私たち一人一人の責任です」の言葉に共感が広がりました。(2面へ)



女性のつどい (4・5面)

主な日程

- 3・4日 国際会議
- 4日 世界大会一広島/開会総会
- 5日 フォーラム1・2、分科会
- ◇核兵器なくそう女性のつどい2024inヒロシマ
- 6日 〈ヒロシマデー集会〉 とうろつ流し
- 8日 海外代表と市民の交流フォーラム
- 9日 世界大会一長崎 〈ナガサキデー集会〉

